

令和6年度 1学期始業式 校長式辞

**「目指せ！
スペシャリスト」**

～チャレンジ精神は未来を変える～

令和6年4月8日(月)

武蔵台高等学校 校長 山口英明

令和6年度 1学期始業式 式辞

「目指せ！スペシャリスト！」
～ チャレンジ精神は未来を変える ～

令和6年4月8日(月)

校長 山口 英明

4月に着任して何人かの本校生徒とすれ違うことがありましたが、ほとんど100%の生徒が自分から元気のよい挨拶をしてくれて、とても好印象でした。中には、運動部の生徒が立ち止まってしっかりと挨拶をしていて、大変感心したところです。生徒一人一人の第一印象は、学校全体の印象にもつながるものなので、これからも大切にしたいと思います。

さて、簡単に自己紹介をしておきます。私は父親の仕事の関係で佐賀市内や春日市内の小学校を経験し、中学からは福岡市内の学校に通いました。就職してからは筑後地区の学校が長いのですが、この第5学区では太宰府高校と筑紫中央高校に副校長として勤務した経験があります。

私の専門科目は「日本史」ですが、今まで「日本史B」や「歴史総合」の教科書、サブレノットを書きました。教科書の巻末にはこのように名前が載っていますが、教科書を書く作業は3年ぐらいかかる大変な作業だったので、そのうちいろいろな苦労話を皆さんにも紹介できたらいいと思います。

私は、皆さんと同じ年頃のころ、どんな学校生活を送っていたかという、中学・高校の6年間は、自分の将来に対して、怖くなるくらい「悩み」や「迷い」の連続でした。特に、中学校3年生の時点で考えていた将来の職業と現在の職業とは全くかけ離れていて、個人的な経験に過ぎないですが、わずか15歳でこれから40年以上も働く職業を決めてから高校選びをするというのは、少し無理があったし、その後の軌道修正が大事だったと思っています。

具体的には、小学校では世の中の病気と闘う医者になりたいと作文に書き、中学では乗ったこともない飛行機のパイロットに憧れ、高校では国文学者である叔父の影響で勝手に自分に才能があると勘違いして国文学の道に進もうとしましたが、高校で理系科目（特に物理と化学）に自分の能力の限界を感じ、大学受験に豪快に失敗し、浪人してからようやく歴史に目覚め、その時、ただひたすらに勉強して努力したことが、今の自分の職業につながっています。

私が高校時代に大きな影響を受けた叔父（父の兄）は名前を那珂太郎といい、皆さんが使っている文学史の教科書の年表に詩人として載っている人です。叔父が終生、「歴史的仮名づかい」を使い続け、言葉の持つ力、音律を追究し、戦後の現代詩の発展に寄与したことは、私自身の専門である歴史学への取り組み方の基盤となっています。一昨年の9月に発売された『現代詩手帖』には叔父の「生誕百年」の特集を組んでいただきました。太宰治を再訪した日記が最近になって発見された事等が書かれているので、文学に興味がある人は手に取って読むと詩の世界の奥深さに触れることができると思います。

さて、今日の本題ですが、皆さんも「AIの急激な発達によって、現在の仕事の多くはロボットが行うようになる」「2030年までに日本中の業務の27%が自動化され、約1660万人の雇用が機械に代替される可能性がある」ということは聞いたことがあるのではないかと思います。そのように言われると、これからいったいどんな仕事に就けばいいのか、何を頑張ればいいのかわからなくて不安になる人も多いのではないのでしょうか。高校生にとって大切なことは、高校卒業後、すぐのことだけではなく、これから20、30年後の世の中が「どのような社会になるのか」を考えること、これから「どのような資質・能力が求められるのか」を考えて頑張ることです。

最近の就職環境ですが、高卒、大卒を問わず、コロナの影響も少なくなり、インターンシップや職場見学が再開され、より重要視されるようになっていきます。また、安定指向がより一層強くなり、警察・消防・自衛官などの公務員人気は例年以上に高まっています。

さらに企業によるDX化が進むことによって、文系理系関係無くどのくらいパソコンを使いこなせるかというデジタル力が求められているとのことです。

ちなみに、授業で習っていると思いますが、「DX」とは、デジタルトランスフォーメーション（Digital Transformation）の略で、経済産業省は、2018年に「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること」と定義しています。

「DT」ではなく「DX」と表記されるのは、英語圏では交差するという意味を持つ「trans」を「X」と略すことがあるためです。例を挙げると、皆さんの家でも画面のような企業システムを随分利用しているかと思いますが、必要なものをスマホで簡単に注文することが出来る、企業側からするとスマホで物を売る仕組みが不可欠になっているということです。

この写真を見てください。これはシンガポールの会社がはじめた巨大なビルを利用した「高級車の自動販売機」です。ある経済誌には、煩わしい商談の時間を削減し、顧客満足度を高めた意味では、これもDX化だと書かれていました。これからはネットで買えないものを探す方が難しくなるのかも知れません。

話を元に戻します。就職に関する「親確（おやかく）」なる言葉が出てきたように、企業側は学生の内定辞退や早期離職について不安視しています。

この表は、厚生労働省が示した早期離職率の最新のデータです。就職してから仕事を辞める、いわゆる離職率は、3年以内に大卒で30%、高卒で40%にもなります。せっかく仕事に就いても簡単に辞めることがないように中学・高校での準備、過ごし方が大切になってきます。

離職率が高くなると安易にフリーターを選ぶ人が増えてくるのが社会問題となっています。フリーターの何が問題かという点、最大の問題点は正社員と比べて生涯賃金が圧倒的に少ないということです。仮に月に15万円の収入があったとして、1年12ヶ月、38年間の賃金は、約6840万円になります。正社員の生涯賃金が高卒で2億1千万円、大卒で2億7千万と言われているので、比較するとなんと約1～2億円の差があります。

このようにフリーターのデメリットは①生涯賃金が少ない、②保障が少ない、③リストラの対象になりやすい、の大きく3つが挙げられます。

今から、ちょうど10年前に『22歳負け組の恐怖』という本が出されて、学生の間で大きな話題となりました。「大学生二極化の時代が来る」と予測した本で、「大学に行っても4割の学生は就職できていない」というところがマスコミにもクローズアップされました。「大学に行っても仕方がない」と誤解されがちでしたが、実は、この本には「学生時代にどうすればうまくいくか」ということがわかりやすく書かれています。

少し引用すると、

①就職は偏差値の高い大学ほど有利

②「就職に強い」とは金融業（銀行）に就職できるということ

③どんな学生生活を送ればいいのかを進学校の生徒はとっくにわかっているから強い

「勉強に対して迷いが無い」＝「なぜ勉強しなくてはならないかわかっている」

④今、自分が勉強していることが、将来どう繋がるかわかっている

そして、勉強がわかるようになるために自分で、創意工夫している

⑤逆にもっともダメなのは2つ。「受け身」「指示待ち」の生徒、

だと書かれています。つまり、突き詰めて言えば、最も優秀な生徒とは、「積極的」で「チャレンジ精神」に溢れている生徒です。

特に今を生きる高校生が身に付けておくべき4つの力があるとされていて、それは、

①問題解決能力

②コミュニケーション能力

③リーダーシップ

④資格取得

です。本校においては、日々の授業・学校行事・部活動で身に付くものであり、激動の社会をたくましく生き抜くためにも、是非とも、この4つを強く意識しながら頑張っても

raitai to shiutteimasu. tani jyougaku dewa "gurupuwaku" o hounshu shimasu node, shuutoku, shikokoku na jyougaku sanka o kokogakete kudasai.

sate, ima wa "michise! spescharistu! ~charendzishin wa mirai o waeraru~" iu tema de wata shimashi.

hasan ga, jibun no dai shisou ni gekaku shi, naritai jibun ni naru tame ni, kono 1 nengau de toku bunryo o koku me, tani ni mo makena i "spescharistu" o michi shite kudasai. soshite, sono tame ni "nani ni mo shikokoku ni charendzisu koto". kutaiku ni wa shugaku koushi, bu kaku, saku kaku shiken nado. to ni kaku "matta toki wa, tshou sen suru" iu kokochi ga daiaku desu. charendzisezu ni kouku suru koto dake wa, kaku ni shite hoshiku nai to shiimasu.

soshite, seito shokun ga tshou karu kara ni wa, "shugaku wa tanoshii basho" de aru beki desu. hasan ga shuutoku ni, shikokoku ni shugaku o yori yoi basho ni suru you naku shite kureru koto o kaitai shiteimasu.

kono shashin wa, zenjin shugaku de aru fukuoka kouren kan shugaku no sotsugaku shiki no yasu ni desu ga, isshu kenmei ni tshou karutta kara koso, kono you ni kandou no namida o nashi naga ra sotsugaku dekiru no da to shiimasu. roko misaito ni jibun no shugaku no akuchi o kaku you na seito wa sono tshou koku ni sonzai shimasu ga, sou naranai you ni zokuri no shugaku seikatsu ga iu ishigaku na mono to naru you naku shite kudasai.

sonna kokochi o imete, konna gaku no hon shugaku no kyachufurezu o kaimashi.

reiwa 6 nengau no hon shugaku no shugaku slogangu wa "tani ni charendzishin" desu.

hasan no kaku de, shugaku kara taku no genki o iuru iuru nado koro ni haku shin dekiru you ni, seito shokun no tshou karu ni dai ni kaitai shiteimasu.